# 卒業スピーチ

皆さん、こんにちは。私は宋と申します。日本に来てちょうど2年になりました。来たばかりの時、簡単な挨拶しか話せないので、日本での生活や仕事など本当に大丈夫か結構心配しました。でも、生活面では、そんなに心配しなくてもよかったのです。なぜなら、妻が私より先に日本に来て、もう日本の生活に慣れましたから、困ったら妻に助けてもらえました。

さて、一番心配なのはやっぱり仕事面です。日本で仕事を探すとき、色んな面接を受けましたが、その中で、新富町のある会社の面接が今でも強い記憶に残っています。女性の面接官は話スピードが速くて、何だか私が叱られているような感じがしました。結局、質問された内容に何も答えられませんでした。本当に恥ずかしいなあと思いました。この面接で、日本の女性も中国と同じように女性のほうが強いんだなと思いました。このような体験をして、一ヶ月後に、ようやく仕事をみつけることが出来ました。心身ともにほんとに疲れました。

去年八月中旬、自分の日本語能力を向上するために、ボランティア日本語教室までメールで問い合わせまして、すぐ返信が届きました。その後、日本語教室で勉強をすることになりました。一年経って、少しずつ、日本語がうまくできるようになりました。毎日乗る通勤電車のアナウンスもやっとはっきり聞き取ることができるようになり、ほんとに嬉しいです。

いつの間にか、卒業する時期になり、この一年間、神田先生のおかげで、色んな国のそれぞれ異なる目標を持つ皆さんと一緒に勉強したり、交流したり、視野を広げることが出来ました。このクラスで勉強することが出来たのは今までにない幸せなことだと思っています。お世話になった皆さん、本当にありがとうございます。

これで、私の卒業スピーチが終わりです。ご清聴ありがとうございます。